

先週のマーケット動向(11月1日～11月5日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,173.5	1,186.7	1,173.0	1,185.2	+16.6
JPY/KRW	10.2722	10.4408	10.2588	10.4258	+0.132
KOSPI	2,984.18	3,034.30	2,953.96	2,969.27	▲1.41

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上昇した。4日に控えるFOMCを前に、ユーロ売りドル買いが優勢となっておりドル/ウォンは1,173.5にてオープン。外国人投資家によるポジション調整の株売りもあり、ドル/ウォンは1,178.9まで上昇。2日には豪中銀が予想外に政策金利を据え置くと、海外時間にかけドル買い優勢となり、3日には1,182.3まで上昇した。3日海外時間に行われたFOMCでは市場予想通り債券購入を150億ドル/月のペースで減額すると発表。またインフレは2022年2Qから3Qにかけて下落してくる見通しであり、利上げを急がないことを示唆した。これを受け、米長期金利が低下しドル/ウォンは下落する局面もあったものの、4日に英中銀が市場の予想に反し政策金利(0.10%)を据え置き、ペイリー英中銀総裁が市場の利上げ予想をけん制する発言をしたことから、米国を含む欧米主要国の長期金利が大きく低下。再びドル買い優勢となるとドル/ウォンは1,186.7まで上昇し、結局、先週末対比16.6ウォン上昇の1,185.2ウォンにてクローズ。

今週の見通し

今週のドル/ウォン相場はやや下落する展開を予想する。先週末発表された米雇用統計は非常に良好な結果となっている一方で、FEDによる利上げ開始時期は不変との見方が市場で広がる中、米長期金利は軒並み下落しつつある。英中銀や豪中銀も同様の慎重なスタンスを示し、同国の長期金利低下を誘発したものの、米国も同様の流れとなれば最終的にはドル売り優勢となろう。今週は特段目立ったイベントに乏しい中、ドル/ウォンは下落する展開となろう。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1165 ~ 1190	10.20 ~ 10.50	112.5 ~ 114.5

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 9日(火) 米 10月 PPI 確定値
- 9日 9月 国際収支 速報値
- 10日(水) 米 10月 CPI 確定値
- 韓 10月 失業率 確定値
- 中 10月 PPI 確定値
- 中 10月 CPI 確定値
- 12日(金) 米 11月 ミシガン大消費者マインド指数 速報値

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。